

子ども食堂 くるくるごはん 地域へ「出張」

女性団体 19日光陽「気軽に来て」

福井市内の女性団体が、移動式の子ども食堂を実施しようと呼びかけを進めている。キッチンがある市内の施設を会場に、温かい料理とほっこり話せる機会の提供を目指す。初回は19日、同市光陽4丁目の福井県医療生協組合員ルームで実施する予定で、「いろんな地域で子どもたちのおなかを満たす、居心地のよい空間づくりを目指したい」と意気込んでいる。

(前田 暉)



団体は代表の藤井貴子さん(49)ら、子どもに携わる仕事をしていた女性4人でつくる「WANWANごはん804」。藤井さんは地域で子どもを育む環境として「児童が歩いて行ける距離に、子ども食堂が一つはあるのが理想」とする。実際には市内に10カ所ほどしかなく、自分たちが子どもたちの元へ向かう「移動式」を思いついた。

1月13日から準備を始め、20回ほどを議論を重ねた。「子どもが食事できるとして、好みに話せる場所づくり」をモットーに、各地区の公民館や集会所、民家などを会場に想定。食材を持って行き、メンバーらが調理する。月1回ほどの開催を目指す。

初回の子ども食堂実施に向け、献立などを話し合うメンバー＝福井市光陽4丁目

移動式であることから、

各地域にどう根付かせるかが懸念事項だった。そこで、より親しみを持ってもらおうとテーマソング「WANWANごはんの歌」を制作。会場で流し「私たちが来ていること、まずは知ってほしい」という。

「楽しい場所をひろくは自分たちも楽しまない」と、曲作りにも全力投入。藤井さんが作詞作曲し、管理栄養士で副代表の佐藤慶子さん(50)らが演奏を担当した。曲を披露して寄付を募るなど資金集めにも奔走し、初開催にこぎ着けた。藤井さんは「気軽に遊びに来てほしい」と話していた。

19日は午前11時半～午後2時。1食300円で18歳以下は無料。旬の食材を取り入れた50食程度を用意する予定。

食材などの寄付や、子ども食堂を開ける市内の会場提供も募っている。問い合わせは藤井さん＝0990(82261)1530。